

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE

5 2018
May
Vol.721



表紙写真説明

湯田温泉白狐まつり
(山口市)

特集 平成30年度 山口県商工労働部の事業概要

- ーいま、これを伝えたい!ー 萩酒米みがき協同組合
- シリーズ「企業組合商品紹介」 とくち健康茶企業組合
- 組合等ニュース紹介
- 平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金公募説明会を開催
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」 宇部協立産業株式会社
- 山口ゆめ花博のご案内
- ブルーウェーブテクノロジー株式会社
- 山口県中小企業団体中央会 第63回 通常総会のご案内
- 景況動向

中小企業・組合を応援します! ~創業・連携・運営を支援~



山口県中小企業団体中央会

いま、これを伝えたい！

農業と酒造による共同施設設置による地域活性化

萩酒米みがき協同組合

農業と酒造の現状

萩阿武地域の農業は、米を基幹産物として、大豆、野菜、果樹、花卉、畜産等の複合経営が営まれております。農家数は約3,700戸で1戸あたりの経営耕地面積は約151アールと比較的規模が大きく、中山間地域、沿岸平坦地域、島しょ部と多様な農業が展開され農業産出額は約70億で、基幹的農業従事者のうち約74%が65歳以上と高齢化が進んでいます。

一方、酒造業界における日本酒の国内出荷量は、ピーク時には170万キロリットルを超えていましたが、他のアルコール飲料との競争により、現在は60万キロリットルを割り込む水準まで減少しています。そんな中、萩阿武地域の酒造会社は、全国的に落ち込む日本酒の出荷量に反して、山口県全体の出荷量増加にひっぱりこまれる形で増加し、山口県全体での日本酒の出荷量は10年連続で増加するなど、好調を維持しています。



農業と酒造の地域間連携による組合設立

萩阿武地域の農業は、需要に応じた水稻の生産販売を進めています。酒造好適米「山田錦」は、集落営農法人を中心に生産されており、萩阿武地域の酒造会社販売しています。萩阿武地域の酒造会社は、萩阿武産「山田錦」での酒造りを強く志向しており、萩阿武産の「山田錦」の安定供給を強く求められています。しかし、現在の原料調達ととう精（米を削ること）のしきみ（県外委託）では、萩阿武産「山田錦」での酒造りが難しい状況にあります。加えて、酒造好適米は、販売価格も主食用米より高価であるため、集落営農法人等の経営において重要な品目かつ、面積拡大の意向が高い品目であります。そこで、集落営農法人と酒造会社が連携して、協同組合を設立し、とう精設備を共同で設置、運営することにより経済的地位の向上を図り、競争力の強化等を目的に設立されました。

とう精施設の概要

今回、組合で設置したとう精施設は、鉄骨平屋建1棟で、建築面積は318.5㎡（延床面積245.0㎡）、処理能力は精米歩合50%で30俵精米時間27～33時間、年間処理能力は玄米194トンの能力があります。今後、萩阿武地域の農事組合法人が生産した「山田錦」は、このとう精施設を活用し精米し、同じく萩阿武地域に所在する酒造会社の醸造用原料として利用されます。このことで、農事組合法人は、現状33.4ヘクタールの栽培面積を平成31年度には54ヘクタールに、酒造会社は、県外委託していたとう精が地元で完結することのコストダウンや産地の顔の見える地酒としてのブランド化が図られます。



4/13萩酒米とう精工場竣工式にて精米機のスイッチを押す村岡県知事と山田理事長

交流イベント

組合では、共同施設の設置のみならず、消費者による「山田錦」の収穫作業体験や消費者と酒造会社、酒米生産者が6社の日本酒を味わいながら交流するイベント等の企画運営等を通じて、酒造会社と酒米生産者、日本酒を愛する方々との結びつきを強め、一緒に日本一の日本酒と日本一の産地を作っていく事を目指しております。

萩酒米みがき協同組合

【組合概要】

- 理事長：山田 和男
- 組合住所：萩市大字吉部下2226番地 1
- ☎ 08388-6-0211 FAX 08388-6-0760

【組合の主な活動】

原材料等の共同加工
原材料等の共同販売





平成30年度 山口県商工労働部の事業概要

商工労働部の取組方針

平成30年度当初予算は、これまでの県づくりの成果の上に立ち、最重要課題である人口減少問題や地方創生の実現など、県政が直面する課題に立ち向かっていくため、山口県の未来を切り拓く「3つの維新」（「産業維新」、「大交流維新」、「生活維新」）への挑戦を始動する。

商工労働部においては、特に産業維新の中核を担う部として、本県の産業振興に資する取組を積極的に推進していく。

産業維新

■産業集積・地域特性を活かしたイノベーションの創出

新やまぐちバイオ関連産業創出支援事業 27,182千円

本県の次代を担う産業を育成するため、これまでに培われた技術や産学公金連携によるネットワークを活かして、「医療関連」「環境・エネルギー」分野との相乗効果が見込まれ、食品や農業など幅広い関連分野への波及効果も期待できる、バイオ関連産業の育成・集積を図ります。

○次世代産業クラスター構想推進事業 41,800千円

本県産業の特性や強みを活かし、産学公金連携による「医療関連分野」「環境・エネルギー分野」における県内企業の研究開発や新事業展開を促進します。

平成30年度からは、新設される「バイオ関連推進チーム」とも連携しながら、各分野の次世代産業の集積の促進に取り組みます。

○やまぐち医療関連成長戦略推進事業 5,000千円

医療関連産業の育成・集積を推進するため、企業・大学・医療機関・産業支援機関等のネットワークを強化し、マッチング支援、研究開発、事業化、企業誘致等の取組を促進します。

拡「水素先進県」実現促進事業 66,415千円

全国トップクラスの大量かつ高純度の水素を生成するという本県の強みを最大限活かし、「水素先進県」の実現に向けて、水素利活用による産業振興と地域づくりを進めます。

○水素サプライチェーン技術開発支援事業 100,300千円

水素利活用に関する県内企業の技術力を集めた、水素サプライチェーンに係る技術開発を支援することにより、県内水素関連産業の活性化や「水素先進県」の実現を目指します。

○水素サプライチェーン地域モデル検証事業 5,000千円

周南地域や下関地域で実施している水素サプライチェーン構築に向けた実証（環境省「地域連携・低炭素水素技術実証事業」）における地域モデルを検証し、県内他地域への普及・事業化や全国への展開

戦略について検討します。

○水素関連技術支援拠点機能強化事業 33,000千円

県内水素関連産業の裾野拡大を図るため、県産業技術センターの技術支援機能を強化し、中小・中堅企業が行う水素利活用製品や関連部品の技術開発・試作に対し支援を行うことにより、中小・中堅企業の水素関連産業への参入を促進します。

○やまぐち次世代ベンチャー創出支援事業 20,300千円

○次世代産業育成チャレンジアップ事業 80,607千円

○次世代産業育成・集積促進事業 5,543千円

○産業戦略研究開発助成事業 48,863千円

拡企業立地推進強化事業 41,769千円

魅力ある雇用の場の創出など地域への多面的な波及効果が期待できる優良企業の誘致を進めるため、創意工夫を凝らした効果的な誘致活動を展開し、新規立地・拡大投資を促進します。

○企業立地サポート事業 1,323,935千円

雇用機会の拡大や経済の活性化を図るため充実した優遇制度により、企業の新規立地を促進します。

○やまぐちIT・サテライトオフィス誘致推進事業 17,000千円

若者・女性の県内定住を図るため、情報発信の強化等により、魅力ある雇用の場の創出が期待できるIT関連企業等の誘致を促進します。

■中小企業・小規模事業者の成長・安定・創業支援

新宇宙利用産業創出支援事業 415,487千円

政府関係機関の地方移転に伴うJAXA・山口県・山口大学の連携協力協定の締結等、優れた宇宙データ利用環境を有する本県の強みを活かし、産学公連携の下、宇宙利用産業の創出・振興を図ります。

新航空機・宇宙機器産業参入促進事業 13,000千円

航空機産業において、企業連携による一貫生産体制を確立し、大型案件の受注を目指すとともに、宇宙機器産業への参入に向けたニーズ把握等を行うことにより地域経済を牽引する中堅企業の輩出・育成を図る。

新産業人材創造事業 36,000千円

本県産業力の強化に向けて、「産業人材」の観点

から人材創造に係る支援体制を構築するとともに、人材の育成・強化に係る研修等を実施し県内企業の成長を促進します。

【拡】チャレンジやまぐち中小企業総合支援事業
374,371千円

産学公金の連携のもと、ものづくり企業やサービス産業など幅広い業種を対象に、新事業分野進出や海外を含めた積極的な事業展開、優れた人材の確保・育成の取組を総合的に支援し、企業の事業拡大と安定的な雇用の創出・拡大を図ります。

【新】やまぐちIoT導入促進事業 9,442千円

IoT技術を活用した新サービスの創出や新たな事業活動に取り組む事業者を支援し、幅広い業種でIoTの導入を促進する。

【新】創業チャレンジ総合支援事業 64,961千円

「創業するなら山口県」の実現に向け、創業準備段階からフォローアップ、創業の場等の提供まで、きめ細かな一貫した支援を行うとともに、全県的な創業支援を推進し、創業者の増加による雇用の場の創出及び地域経済の活性化を図ります。

○女性創業サポート事業 21,465千円

子育て期にあたる女性労働力率の低下の解消や、女性の活躍促進を図るため、女性向けの創業支援を実施します。

○事業承継総合支援事業 12,430千円

後継者不在等の問題を抱える事業者に対し、事業承継の準備の意識づけから実行まで円滑な事業承継に向けたきめ細かな支援を実施します。

○九州・山口ベンチャーマーケット開催事業
1,066千円

ベンチャー企業と投資家等とのビジネスマッチングイベントを九州・山口各県の広域連携により開催し、国内外で活躍できるベンチャー企業の成長を支援します。

○中小企業活力向上促進事業 44,920千円

県内中小企業の事業化、販路拡大の取組促進など、やまぐち産業振興財団が実施するローカルイノベーションの実現に向けた取組を支援します。

○中小企業等知財支援拠点形成促進事業
10,560千円

国が設置する中小企業等の知的財産相談に対応する一元的な窓口である「知財総合支援窓口」に、企業、地域における現場ニーズへの対応や大学、公設試、支援機関等との連携による支援等を行う知財専門人材を配置します。

○小規模事業経営支援事業 1,184,651千円

小規模事業者の経営や技術の改善発達を図るため、その支援専門機関である商工会議所、商工会、山口県商工会連合会が行う各種の取組に対し助成します。

○中小企業団体育成指導事業 91,377千円

事業協同組合の設立をはじめとする中小企業の連携、共同化を推進するため、その支援専門機関である山口県中小企業団体中央会が行う各種の取組に対し助成します。

○小規模企業者等設備貸与事業資金
[貸与枠 150,000千円]

○新事業活動支援設備貸与事業資金
[貸与枠 200,000千円]

県内中小企業者等の創業及び経営の革新等を図るために必要な設備の導入に対して、設備貸与を行うことにより、県内中小企業者等の積極的な設備投資を促進します。

○中小企業制度融資 [融資枠：670億円]

中小企業者が必要とする低利かつ長期の資金を供給することにより、中小企業者の経営の安定・強化を図ります。

【新】地域経済牽引資金（中小企業制度融資）
[融資枠：10億円]

地域未来投資促進法の承認計画に基づき、地域経済牽引事業を実施する中小企業者を支援するため、必要な事業資金を融通します。

【新】生産性向上支援資金（中小企業制度融資）
[融資枠：5億円]

中小企業等経営強化法の承認計画に基づき、IoTを活用した事業に取り組む中小企業者を支援するため、必要な事業資金を融通します。

○損失補償 158,739千円

中小企業制度融資のうち、特に政策的に推進していく必要のある資金について、山口県信用保証協会が履行する代位弁済の一部を補填することによって、積極的な保証を促進し、融資の円滑化を図ります。

○信用保証料率低減事業 180,175千円

○産業技術センター運営費交付金 628,669千円

【新】東部地域企業誘致加速事業 207,000千円

事業用地活用に向けた適地調査や立地企業への優遇制度を創設し、東部地域への企業立地を促進し、産業振興や地域の活性化を図ります。

【新】東部地域小規模事業者支援事業 17,091千円

小規模事業者をとりまく厳しい経営環境の中で、小規模事業者の事業拡大に向け、英語に堪能で契約業務に精通した専門家の配置など、外国人向けビジネスに対する支援を行います。

【新】東部地域産業振興支援機能構築事業 4,000千円

県内企業の成長促進に向けて、本県の産業支援機関の利用状況等を踏まえ、経営・技術や人材などの施策や施設整備の両面から、東部地域の産業振興支援機能の構築に向けた検討を行います。

新県内就職・人材確保支援強化事業 68,963千円
若者就職支援センターの支援対象にシニアと女性を追加するとともに、プロフェッショナル人材戦略拠点の機能を統合し、県内就職と人材確保の支援体制を強化します。

併せて、センターの名称を8月1日から「山口しごとセンター」に変更します。

拡やまぐちインターンシップ等総合推進事業 23,196千円

県内及び県外に進学した大学生等を対象に、県内の企業におけるインターンシップ等を総合的に推進することにより、学生に県内企業の魅力を伝えるとともに、県内への就職・定着促進を図ります。

○外国人留学生等活用支援事業 9,817千円

○やまぐち中小企業魅力情報発信！若者定着促進事業 6,580千円

拡就職説明会等開催事業 18,133千円

県内中小企業と学生・一般求職者等とのマッチング及び情報収集の機会を提供し、県内中小企業等への若者の就職・定着を促進します。

○地域若者サポートステーション機能強化事業 10,528千円

○ものづくり産業技能向上対策事業 15,071千円

若年技能者から熟練技能者までの各段階に応じた技能向上や人材育成を支援するとともに、技能の継承にあたる指導者の育成や指導体制の強化を図ります。

○次代を担う産業人材育成推進事業 7,683千円

「山口マイスター」等を活用した企業や教育・訓練機関での技能講習やものづくり教室の開催により、技能尊重気運を醸成するとともに、次代の山口県産業を担う産業人材の育成を促進します。

○職業能力開発支援事業 578,636千円
離職者等の早期就職を支援するため、民間教育訓練機関等の機動性を活用した多様な職業訓練を行うことにより、本県産業を担う人材を育成します。

○労働福祉金融対策費 429,151千円
低利の貸付制度により、中小企業勤労者の福祉増進や企業倒産又は事業不振、縮小等により離職を余儀なくされた方の生活安定を図ります。

○労働者福祉対策事業 2,366千円
勤労者福祉に資する事業を支援します。

大交流維新

■国内外への売り込み強化

新やまぐち県産品売込強化事業 52,381千円
県産品の首都圏への販路拡大を図るため、地域商社のビジネスモデル確立と将来的な自立に向けた取組支援を行います。

新グローバルビジネス総合支援事業 33,000千円
県内中小企業に対する中核的支援機関であるやまぐち産業振興財団の海外展開支援拠点機能を強化し、基本方針の策定から海外展開実行段階までを総合的に支援することにより、中小企業の海外展開の取組を加速します。

○国際経済交流促進事業 2,128千円

中国との経済取引を促進するため、山口県日中経済交流促進協会が行う経済交流事業に対して支援を行います。

○貿易商談会等開催事業 2,280千円

県内中小企業と東アジア地域内の企業との経済取引を促進し、本県経済全体の活性化を図るため、商談会を開催します。

生活維新

■働き方改革の推進

新やまぐち働き方改革サポート事業 29,440千円
やまぐち働き方改革支援センターを中心とした、企業に身近な相談支援体制を充実・強化し、長時間労働の縮減や多様な人材が活躍できる職場環境づくりに向けた企業の自主的な取組を支援します。

新やまぐち働き方改革実践モデル展開事業 18,990千円

長時間労働の縮減やワーク・ライフ・バランスの推進などの「働き方改革」の実現に向け、県内企業のモデルとなる取組を強化・拡大することにより、魅力的な雇用の場を創出します。

■誰もが活躍できる地域社会の実現

新やまぐちの働く女性応援事業 24,000千円
女性の就業継続に向けた啓発や、女性の職域拡大等に向けた職場環境整備への支援を行い、若年層の女性の就業を促進します。

○子育て女性等の活躍応援事業 61,385千円
子育て女性等を対象に、職場体験、短期実践研修、職業訓練等を実施し、就職に向けての不安の解消や就業意欲の醸成、職業能力の開発・向上を図ることで、働く意欲のある子育て女性等の再就職を促進します。

○いきいきシルバー世代就業支援事業 8,900千円
シルバー人材センターを通じて、多様な就業機会を提供することにより、勤労意欲のある高年齢者の就業を支援します。

○障害者雇用促進事業 48,106千円
障害者雇用に係る事業主の理解及び関係機関の連携を促進するとともに、障害者の職業訓練や就職面接会を実施することにより、障害者の意欲と適性に応じた就労を支援し、障害者の雇用を促進します。

湯田温泉白狐まつりにブース出店

湯田温泉旅館協同組合(理事長 宮川 力)

当組合の組合員である旅館の若女将や大学生ら20～40代の女性中心のグループ「ゆだもり」(湯田温泉盛り上げ隊の略)は、4月7日(土)、8日(日)、湯田温泉白狐まつりに出店し、湯田温泉オリジナル化粧水ゆだうるや御朱印帳、ブレンドコーヒーの販売と、



コーヒー風呂ワークショップを開催しました。ワークショップでは、「ゆだもり」メンバーであるNishida Coffeeで取り扱っているコーヒー豆のうち傷があるなどの理由で販売ができないものを用いて、入浴剤の作成を行いました。コーヒーの良い香りがし、参加者も大変満足した様子でした。

「ゆだもり」では、湯田温泉付近を訪れる観光客向けにマップを発行しており、2016年発行の2種類のマップに加え、この度新たに「禅体験めぐり」や「開運スポットめぐり」などテーマ毎に作られたもの6種類、



外国人向けの英語版が1種類、計7種類のマップを作製しました。湯田温泉観光案内所など山口市内の観光案内所各所に4月中に設置される予定となっています。このマップを持って湯田温泉に一度だけでなく何度も来てもらえるように、という願いが込められています。

菜の花まつりが開催!

企業組合むつみ・きっちんばあーば
(理事長 山本 ヒロ子)

4月15日、組合が管理運営するむつみ物産販売交流施設「萩・むつみの恵」の前で、菜の花まつりが開催されました。菜の花御膳やぜんざい、むつみバーガー、おにぎらず、菜の花シフォンケーキ等販売し、来場者イベントとして、菜の花のスケッチ体験が行われる等、多くの方で賑わいました。

この菜の花の植え付けは、夏に約22万本のひまわりが一面に広がる「むつみひまわりロード」と同じ畑に菜の花を植えて、夏にはひまわりを、春には菜の花を来場者に楽しんで貰おうと始まりました。山本理事長は、「ひまわり同様に菜の花も宜しくお願いします」とおっしゃいました。



日本酒愛好家が山口の地酒を堪能

山口県酒造協同組合
(理事長 山縣 俊郎)

4月8日(日)、山口市小郡の山口グランドホテルにおいて「山口地酒の祭典 新酒発表会2018」(主催:山口県酒造組合)を開催し、県内外の日本酒愛好家、約250名が新酒を味わいました。

会場では山口県酒造協同組合の組合員である20の蔵元から新酒や鑑評会用の酒など約80種が紹介され

参加者は杜氏から話を聞きながら自慢の酒を飲み比べました。

本祭典は、山口県下蔵元で今酒造期に醸された新酒を中心に、普段呑むことのできない特別なお酒や、山口県オリジナルの酒米「西都の雫」で出来たお酒等をお披露目する場として毎年開催されています。



シリーズ『ものづくり補助金活用事例紹介』 その61

『玉砂利式面の固定化用具の開発』

平成24年度補正

(事業類型) 試作開発＋設備投資

(会社概要) 当社は、宇部市の川上地区に泥質ホルンフェルスと蛇紋岩の岩層が発見されたことから、昭和36年に創業し、土木・建設・装飾用各種碎石、玉砂利の採掘・加工・販売を手掛け、地域の旺盛な需要に支えられ発展してきました。露天掘りの採石場は、地表から60メートルの深さで、最深部は長さ120メートル×幅70メートル程の広さがあります。碎石の高付加価値化を目指し、碎石から玉砂利を製造する『玉砂利製造機』等も開発しております。

(事業概要) 玉砂利は、神社・仏閣等の境内、公園・庭園、介護施設や公共施設の周辺、その他一般家庭の駐車場等の幅広いニーズがあります。その一方で、玉砂利の敷き面は「歩きにくく、足跡がつき、美観を損なう」等の欠点があるため、「歩行を容易に、足跡も残らず、美観も維持できる」玉砂利の固定化用具の試作開発をいたしました。試作の段階では身近な素材や廃材等を活用し工夫を重ね、プレス加工による大量生産が可能で、当初の計画以上の耐久性と強度を持ち、車両駐車場にも施工できる製品を完成し、構造・デザインの特許を取得いたしました。

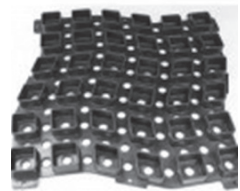
宇部協立産業株式会社

〒755-0084 宇部市大字川上字石仏555
TEL: 0836-31-3088 FAX: 0836-31-9599
URL: <http://uks.jp/>

玉砂利の敷き面はアスファルト、コンクリート舗装より通気性、浸水性に優れ、人にも自然にも優しい製品で、最近では法面の補強等などにも用いられています。今後は土木・エクステリア業者、造園業者、DIY販売店での認知度を高めるべく大勢の人の目に触れる場所に施工し、ユーザー、施工業者等の意見・評価等を集約・加味、改良を重ね、より信頼のある次世代製品を開発してまいりますので、是非、施工をご検討下さい。

代表取締役
井町 光利氏

玉砂利固定化用具の施工事例



固定具の完成品

シリーズ『ものづくり補助金活用事例紹介』 その62

『次世代マウンティングシステムの導入によるLED照明のテーラーメイド試作の高度化』

平成24年度補正

(事業類型) 試作開発＋設備投資

(会社概要) 当社は、2011年創業の新興LEDメーカーです。主に商業建築向けLED照明器具を生産している一方、近年では植物育生照明や医療用途などの各種産業向け照明器具のほか、デジタル制御の演出照明器具なども生産しており、特に照明制御の技術を応用した器具を得意としています。

(事業概要) 近年のLED照明の普及により多様化するユーザーニーズにいち早く応えるため、小ロットでありながらも短期間、低コスト化の両立が求められています。

そこで、はんだ印刷用のメタルマスクのマスクレス化を実現し、チップ部品自動認識機能と基板状態認識機能を備え、長尺・異形基板にも対応した高性能マウンターを装備した次世代の基板実装方式を導入しました。

これにより、人によるメタルマスクでの塗布作業がなくなり納期短縮とコストダウンを実現できました。また、設備導入後は品質が向上し、不良品削減にも繋がりました。

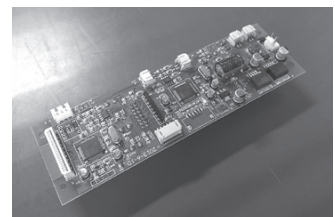
ブルーウェーブテクノロジーズ株式会社

(本社) 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-26-8-606
(あすとぴあ事業所) 山口県宇部市あすとぴあ2-1-1
TEL: 0836-39-6236 FAX: 0836-39-6237
URL: <http://www.bluewave-technologies.com>

この10年間日本市場で販売されるLED照明器具のほとんどが中国製でしたが、トレンドとしては日本製に戻ってきています。これらの事業成果をもって自社だけでなく業界全体の設計スピードをさらに加速させ、多くの方に本サービスを利用していただきたいと考えております。

代表取締役
坂本 眞一氏

ハイブリッドマウンター



完成品「実装基板」

月次景況調査結果

平成30年3月期

※DI値(前年同月比)＝増加・好転組合割合－減少・悪化組合割合

(表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

	業 種	前年同月比	前月比
製 造 業	食 料 品	☁	→
	織 維 工 業	☁	↗
	木 材・木 製 品	☂	→
	印 刷	☂	→
	窯 業・土 石 製 品	☂	↗
	一 般 機 器	☁	↘
	輸 送 機 器	☀	→
非 製 造 業	卸 売 業	☀	↗
	小 売 業	☁	↗
	商 店 街	☂	↘
	サ ー ビ ス 業	☁	↗
	建 設 業	☁	→
	運 輸 業	☂	↗
	そ の 他	☂	→

3月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が6業種、昨年同等が6業種、悪化が2業種となり、全体の景況感DI値も2月に比べ改善した。

窯業・土石製品からは厳しい状況が続いているとの報告もあったが、繊維工業、卸売業、サービス業等では年度末需要や季節商品需要等により、売上が増加しているとの報告があった。

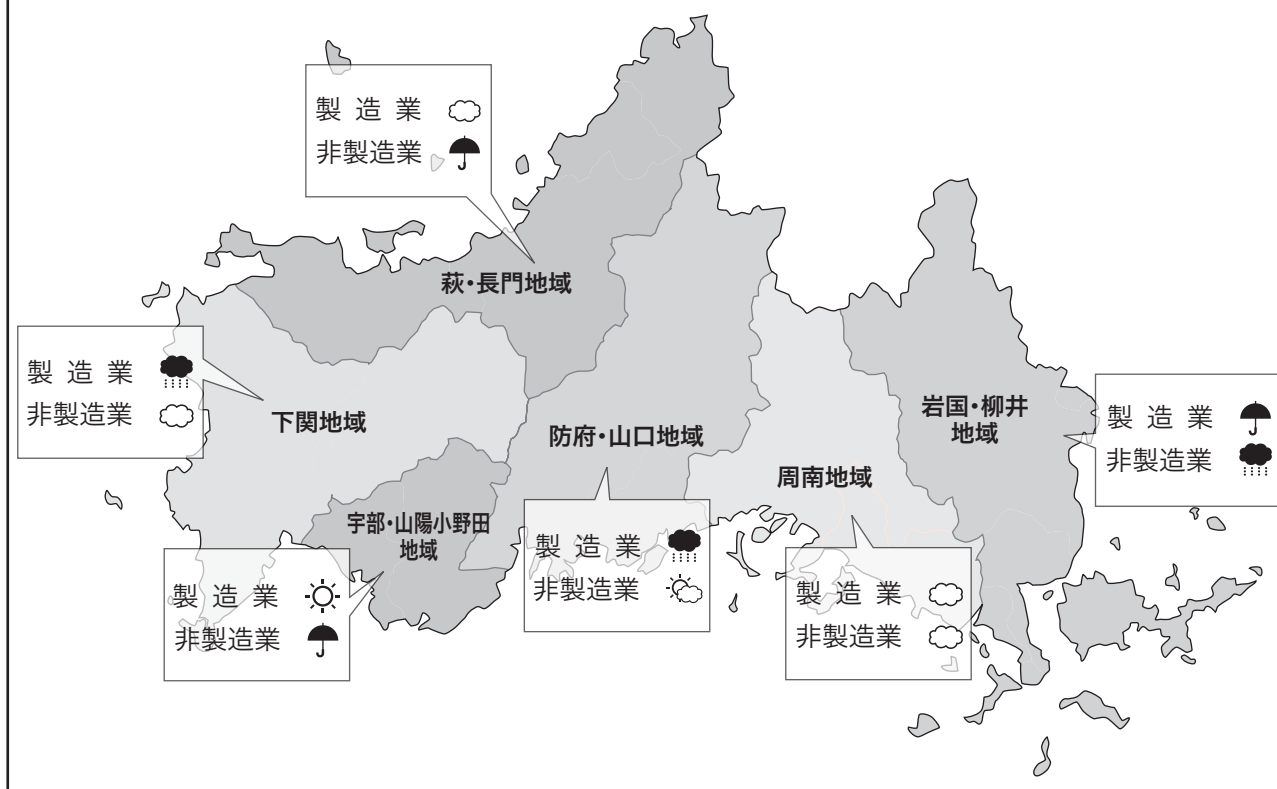
山口県の中小企業は人手不足が深刻化しており、人件費や原材料の値上げなどコストの上昇から収益の改善に結び付いていない。

DI値

30以上 ☀
 10以上30未満 ☂
 -10以上10未満 ☁

-30以上-10未満 ☁
 -50以上-30未満 ☂
 -50未満 ☂

地域別の景況



情報連絡員報告

平成30年3月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景況動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ（<http://axis.or.jp/>）の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食 料 品	☁️	○ 量目を減らし販売を開始（値上げ）したことにより、少し売上が増えたところもある。（調味料製造業） ○ 組合員によっては雇用状況が厳しくなっている。（パン・菓子製造業 下関市） ○ 原材料の値上げや配送料の増加の影響が大きく、人手も確保しにくい。（水産食料品製造業 下関市）
	織 維 工 業	☁️	○ 春物の追加発注と夏物の発注が同時に有るため生産調整が大変な状態である。例年になく、今年は生産時期が集中している。（外衣・シャツ製造業 萩市） ○ 学生服は入学前で忙しい。（外衣・シャツ製造業 下関市）
	木 材 ・ 木 製 品	☂️	○ 組合員企業の機械故障により生産できていない。（製材業・木製品製造業 山口市） ○ 新築の受注が非常に少ない。（製材業・木製品製造業 下関市）
	印 刷	☂️	○ 年度末の需要期を迎え、パンフレット等の受注量は例年並みに確保。（印刷）
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂️	○ 県の土木予算がない状況で、入札も少なく、厳しい状況が続く。今月は新山口駅周辺の開発工事と民間工事が少しあった程度。（砕石製造業） ○ 出荷量は、前年同月比117%、前年同月比105%。（生コンクリート製造業）
	一 般 機 器	☁️	○ 年度末でもあって全般的に良好。海外プラント関係・鋼構造物（鉄骨建屋関係）も順調。（一般機械器具製造業）
	輸 送 機 器	☀️	○ 車両・半導体製造・産業プラント部門の作業量は先月に引続き好調。（鉄道車両・同部品製造業）
非 製 造 業	卸 売 業	☀️	○ 海苔の価格が安くなり、対前年同月比で在庫が4.8%、売上が3.8%、在庫が11.4%増加となった。（乾物卸売業） ○ 年度末納入商品が増加、収益増。（各種商品卸売業）
	小 売 業	☁️	○ シーモールのリニューアルオープンに伴い1週間程売上が好調。（化粧品小売業） ○ 気温に影響を受ける業種・業態では、不安定な気温の影響で売上が低下。全体在庫は微増傾向にある。飲食業は歓送迎会の需要が大きい時期であり、春を迎えてさらなる加速をするものと思われる。（各種商品小売業 岩国市） ○ ほとんどの業種店舗の売上及び客数が前年を下回っており厳しい状況が続いている。（各種商品小売業 長門市）
	商 店 街	☂️	○ 気温の上昇とともに来街者が増加し活気が出てきたが、人手不足が続く。（山口市） ○ 月末に一店閉店。空洞化が進んでいる。（宇部市） ○ 生鮮野菜の売上がやや上向き。衣料もシーズンを迎え忙しい様子。（長門市）
	サービスマ	☁️	○ 2月の寒さで客数が伸びなかったが、3月に入り客数が増加。（理容業） ○ 例年に比べると売上が増加で推移しているが、春の繁忙期が早く始まったというだけで、長く続く見込みは薄いと話が出ている。（普通洗濯業） ○ 寒さの影響で行楽客の流れが悪く、飲食も多少悪かったが、全体的には不変。（旅館業）
	建 設 業	☁️	○ 繁忙期を迎え技能者不足の事業所もあるが全般的な工事量は減少している。（左官業） ○ 他の業種からの参入が増え競争が激しくなり入札価格が低価格化。人手不足のため人件費他コストが上がっており、収益の状況は悪化している。（管工事業）
	運 輸 業	☁️	○ 月半ばより輸送量が徐々に増加。長距離ドライバー不足ながら荷主要求の約90%の輸送率であり、前年同月比は約0.9%のプラスであった。（一般貨物自動車運送業 下松市） ○ 輸送受注は、前年同月比約5%のプラスとなったが、運転手不足によりやりくりが大変である。（一般貨物自動車運送業 防府市） ○ 前年同月比7.8%の減少。昼間の無線配車は、無い月もある位減少している。夜間の売上も少なくなっているようである。（一般旅客自動車運送業 下関市） ○ タクシー乗務員は慢性的に不足し稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては配車が大幅に遅れるような状況もある模様。（一般旅客自動車運送業 周南市）
	そ の 他	☂️	○ 気候が穏やかになったことから利用者の顔色があかるくなったように思う。（介護事業）

“食に関わる” 企業組合商品紹介

とくぢ健康茶企業組合

山口市
徳地

カワラケツメイ茶

とくぢ健康茶企業組合は、平成19年11月、自然農場シゲモトを中心に山口県立大学の学生・教職員と地元有志で組織する「徳地づくり達人塾」からスタートしました。

古くからとくぢで愛飲されてきたカワラケツメイを中心に、地元産原材料でつくり健康茶の製造・販売・卸に取り組みられています。また、とくぢの地域資源の発掘と地域づくりに係る研究等も行っておられます。今回は、とくぢ健康茶企業組合の看板商品である「カワラケツメイ茶」を紹介致します。



自然と寄り添うお茶づくり。

とくぢ健康茶企業組合

組合名 とくぢ健康茶企業組合
理事長 増田 久美子
住所 山口県山口市徳地小古祖871番地
TEL 0835-52-0199

◆カワラケツメイ茶

カワラケツメイ（河原決明）は、薬効がエビスグサ（決明）に似ており、河原に多く自生することからこの名前が付けられました。弘法大師が健康維持のために愛飲し、全国行脚の際に広めたと伝えられており、弘法茶、ざら茶、まめ茶ともいわれています。天然のポリフェノールを多く含み、カフェインゼロで、小さなお子様から妊婦さん、お年寄りの方、すべての皆様に安心しておいしく飲んでいただけます。さらには、脂肪の吸収を抑えると言われているリパーゼ阻害機能があり、お腹が気になりだした方に最適です！



平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金公募説明会を開催

3月12日から県内各地で全10回公募説明会を開催し、延べ360名が参加しました。

弊会のコーディネーターより公募要領の内容についてポイントや注意事項などを説明しました。公募期間は4月27日（電子申請の場合は5月1日）までで、6月中を目処に採択公表を行う予定です。2次公募も行われる予定ですが、開始時期・実施内容については未定です。



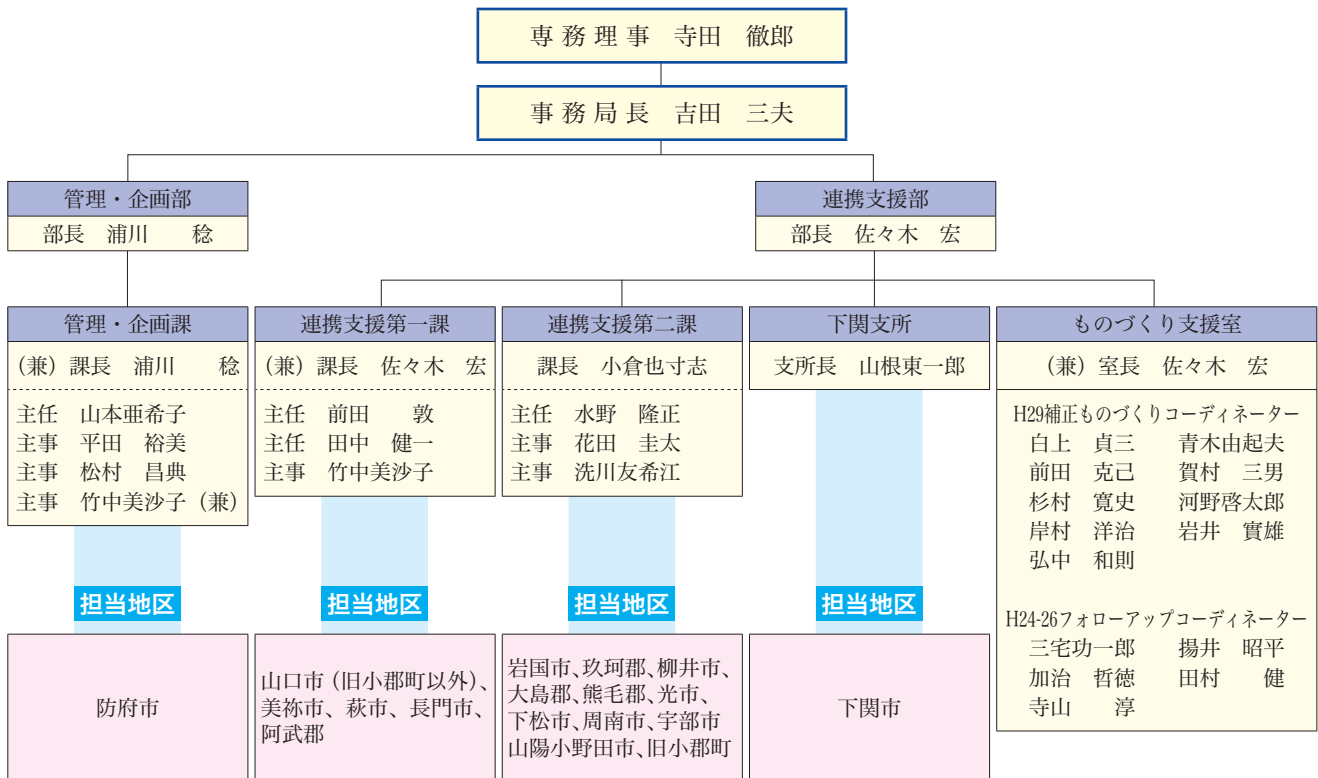
省エネ・節電に取り組む!!

COOLBIZスタート

本会では、環境に配慮した省エネ・地球温暖化防止対策の取り組みとして、下記の期間、ノーネクタイなどの軽装で勤務をしております。また、室温の冷房温度の目安を28度としております。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

クールビズ期間 平成30年5月1日～9月30日

平成30年度事務局組織について



※前売券については、中央会にて斡旋しますので、ぜひご利用ください。



山口ゆめ花博

咲き誇る1,000万の山口県の花、山口県から始まる「子どもの育ちを支える公園」、ファンタスティックなナイトプログラムなど魅力満載の国内最大級の花と緑の祭典が開催されます。

◆2018年9月14日(金)～11月4日(日) 52日間
◆山口きらら博記念公園(山口市)

入場料金(4月前売券発売開始)

【大人】	当日 1,200円・前売 900円
【高校生】	当日 800円・前売 600円
【小・中学生】	当日 600円・前売 500円
【小学生未満】	無料

全期間通じて使用できるパスポート券もあります。
※一部無料エリアもあります。



お問
合わせ先

「山口ゆめ花博」事務局

☎083(933)4805

(第35回全国都市緑化やまぐちフェア実行委員会事務局)



まらり★ 人材レター

2018
May



山口県土木用積ブロック協同組合
事務局長 谷岡 賢司 さん

コンクリート積ブロックの原材料の共同購入や共同販売を行っている当組合に昭和60年4月に入職して以来、33年間組合事務局の中枢として組合運営に携わっています。平成4年には中小企業組合士の認定を受け、山口県中小企業組合士会に入会、平成11年から12年間は理事として、平成23年からは副会長として活躍されています。

ソフトバレーボール歴12年、バドミントン歴25年のスポーツマンで、とくにソフトバレーボールに注力されており、2017年11月には全国大会に出場し、好成績をおさめられました。ソフトバレーボールは団体競技ですので、「ひとはみんなのために みんなはひとりのために」をモットーにされています。

当組合として「常に品質向上、また適正価格でお届けできるように努力し、豊かな郷土の建設と産業の発展に貢献したい」という思いと、組合士として「組合士の普及と地位の向上に尽力したい」という2つの思いを語っていただきました。

☆山口県土木用積ブロック協同組合

〒753-0057 山口市前町4-27 第二ハイツ嶋田107号室 ☎ 083-933-6075



山口県中小企業団体中央会

第63回 通常総会のご案内

日 時：平成30年 **6月11日** (月) 13:30～

場 所：**「ホテルかめ福」**

山口市湯田温泉4-5 ☎083-922-7000

会員の皆様のご出席をお待ちしております。

お問い合わせ先：山口県中小企業団体中央会

管理・企画課（担当：浦川・山本）

☎083-922-2606



山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号

山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

HP <http://axis.or.jp/>

印刷製本 株式会社 桜プリント社